

マリーゴールド タイザン(泰山)・シリーズ

学名: *Tagetes erecta*

種子粒数の目安: 325 から 375 粒/グラム

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.5 から 6.0、また初期の培地の栄養分は中庸(EC 値 0.75 mmhos/cm(2:1)以下)とする

播種

プラグトレイ: 200 穴、288 穴、あるいはこれらと同じくらいのサイズのトレイによる生産が可能である

北西ヨーロッパでの仕様: タイザンを、480 穴、あるいは 264 穴のトレイで生産することも可能である

播種時に、パーミキュライトで中庸の厚さで種子を覆土する

ステージ 1 - 発芽には 2、3 日要する

温度: 20-22°Cが適正

光条件: 発芽時に光は不要

水分: 培地の水分は湿った状態(level 4 の wet)を保つ

湿度: 幼根が発生する頃までは相対湿度を 95-97%に維持する

ステージ 2

温度: 昼間は 21-24°C、夜間は 16-18°Cが適正

光条件: ステージ 2 では 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: 培地の水分は、中くらい(level 3)から湿り気を含む(level 4)の状態を保つ

肥料: レート 1(100ppm(N)以下、EC 値が 0.7ms/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える

ステージ 3

温度: 昼間は 21-24°C、夜間は 16-18°Cが適正

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: ステージ 3 では、培地の水分を抑えて中くらい(level 3)に保つ

肥料: 濃度をレート 2(100-175ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2ms/cm)に上げる。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC 値は 0.7-1.0ms/cm (1:2)で維持する

ステージ 4

温度: 昼間は 18-21°Cが、夜間は 16-18°Cが適正

光条件: 温度が適正に維持されるのであれば、54,000 ルクス(5,000 f.c.)まで上げることが可能

水分: ステージ 3 と同様

肥料: ステージ 3 と同様

矮化处理剤(PGR):

プラグ生産の段階では通常は不要である。ただし、長期間プラグの状態でおくことは避け、適当なタイミングで移植をするように努める

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

カットバックなし 9cm ポット: 1 本植えが適当

10.5cm ポット: 原則、1 本植えが適当

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.5、また初期の培地の栄養分は中庸とする

温度

昼間: 15-18°C

夜間: 17-21°C

通常、最低温度が 12°C以上の適度な温度条件のもとで育つ

光条件

適正な温度管理が可能であれば、できるだけ十分かつ高い日照条件(光条件)を保つようにする

かん水

過湿や極端な乾燥を避け、むらの無い最適なかん水を行うようにする

肥料

移植後 1 週を経てから、リン酸分の低い硝酸態を主体とした肥料をレート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mS/cm)の濃度で与える。pH は 6.2-6.5 を、また EC 値は 1.5-2.0mS/cm の範囲を維持する。上記の範囲で EC と pH が維持されるのであれば、レート 2 (100-175ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2mmhos/cm)の濃度の肥料で多頻度に肥料を与える設計でも可能

矮化剤(PGR)

短日条件であれば、株は自然に低く仕上がるので、矮化剤(生長制御剤)は不要である。一方、タイザンを長日条件で育てる場合は矮化剤による処理が有効である。5,000ppm の B ナイン(有効成分をもとに正確に希釈倍率を測る。例えば、有効成分が 85% の場合は 1 リットルあたり 5.9 グラムの溶質とする)を、2 回葉面に散布する

日長時間との関係

タイザンは短日条件に適した品種で、凡そ 12 時間の日長時間が開花や生長の生理に影響を及ぼす分かれ目となります。例えば、日長が 12 時間あるいはそれよりも短い条件では、開花は早まる傾向があります。一方で 12 時間を超えると開花は、短日条件の時よりも 10 日から 14 日ほど余計にかかります

平均的な生産期間

播種から移植まで: 約 3 週

移植から出荷(開花)まで: 早春～春生産では 4 から 6 週、初夏～夏生産では 6 から 7 週

播種から出荷(開花)まで: 早春～春生産では 7 から 9 週、初夏～夏生産では 9 から 10 週

※温度等のその他の要因で開花まで上記の期間よりも長くなる場合があります

病虫害について

害虫: 生産初期ではアブラムシに十分に注意する。また花が上がってきてからは、スリップスやダニ類などに注意する

花壇定植や造園のついで

- タイザンはしっかりした分枝を形成し、造園や花壇などですぐれたパフォーマンスが期待できます
- 花卉が固く締まった大きな八重花を咲かせます
- 日あたりのよい場所に定植しましょう
- 株間は 20-25cm とり、水はけのよい場所に定植しましょう
- 植えつけた後は、25-30cm ほどの草丈に育ちます

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに沿った正しい使用方法とるようにしましょう

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。